

新しい年へ!

日本共産党



「安倍9条改憲No!」の署名に取り組む日本共産党区議団 (西新井駅東口12月8日)

2018年の幕が明けました。
安倍自公政権のもと、憲法9条改憲や社会保障費の削減が進められています。
足立区議会第4回定例議会では、国民健康保険料と介護保険料の値上げ案が示されたのに対し、日本共産党は区民とともになんとしても値上げは許さない立場で奮闘しました。不登校や防災対策では改めて積極的提案を行い、さっそく一部実現することができました。さらに、子どもの居場所の拡充など積極的提案も行いました。
今年も、区民と野党の共闘を大きく広げ、平和とくらし、いのちを守る区政をつくる先頭に立って頑張ります。

住民のいのちを守る政治を

日本共産党の提案が実現!

「防災無線が聞こえない」対策前進!—今年度10か所新設へ—

異常気象による各地の豪雨災害の共通した教訓は「避難勧告の防災無線が聞こえなかった」ことでした。日本共産党区議団は、2016年の夏に区民アンケートによる「聞こえ方」実態調査を行い、区にも対策を提案、申し入れてきました。



2016年9月「防災無線の対策」を提案・申入れる

全体で68か所新設

区は「無線のデジタル化で対応」「聞こえない地域を優先する」ことを表明。繰り返し迫る中で、今年度10か所を先行して設置、4年間で計68か所新設されることになり、防災無線の空白地域がなくなります。更にデジタル化とあわせて、防災無線の内容を携帯電話(スマホなど)で確認できるように改善、音量も8段階の調整で平常時はうるさくないように抑え、災害時は最大限で聞こえるようになります。

今年度 防災無線の 新設か所

- 花畑西小学校
- 六木小学校
- 花保中学校
- 鹿浜五色桜小学校
- 鹿浜菜の花中学校
- 島根小学校
- 平野小学校
- 江北地域学習センター
- 五反野住宅(更新)
- 大谷田小学校

くらしの
相談は

03(3880)5770
日本共産党足立区議団へ

今年もみなさんと力あわせがんばります!

区議会議員 山中ちえ子	区議会議員 西の原えみ子	区議会議員 鈴木けんいち	副幹事長 浅子けい子	政調委員長 副幹事長 針谷みきお	幹事長 はたの昭彦	区議団長 ぬかが和子	都議会議員・公営企業委員会 《事務所》 斉藤 まりこ
《事務所》 足立区花畑4・25・4 三吉野ビル1階 ☎(03)3880-1911	《自宅》 足立区千住緑町 2・5・16 ☎(03)3880-3028	《自宅》 足立区青井 1・4・10 ☎(03)3880-3022	《事務所》 足立区千住旭町 20・12 ☎(03)3870-4547	《事務所》 足立区西伊興 4・7・8 ☎(03)3855-1587	《自宅》 足立区大谷田 5・27・15・403 ☎(03)3854-1960	《事務所》 足立区西新井栄町 3・1・13 コーポ征十102号 ☎(03)3854-7159	住所 足立区千住龍田町8-13 ☎(03)3879-3629

日本共産党

足立区議団ニュース

発行会派
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 ぬかが和子
編集責任者 浅子けい子

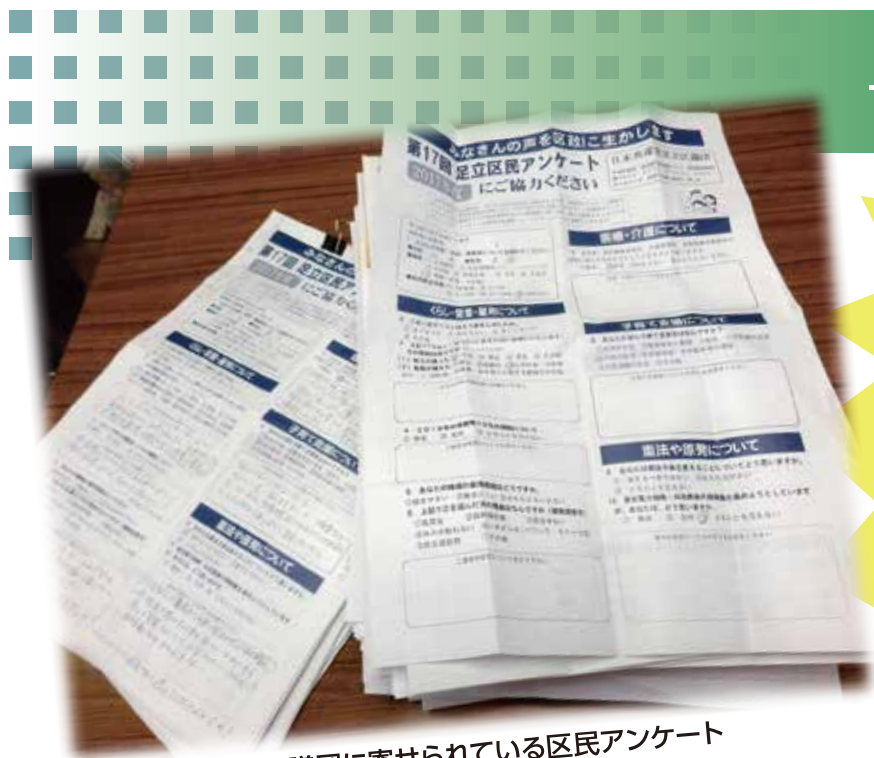
みなさんのご意見をおよせ下さい

区議団 Tel.03-3880-5770 Fax.03-3880-5682
足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp
足立区議団のホームページ http://www.adachi-jcp.jp/

— 国保・介護保険料 —

これ以上の負担はやめて!

区民の声、続々—



区議団に寄せられている区民アンケート

介護保険

「保険料高すぎる」「特養ホームつくって」 600名を超える意見、区に届く

選挙が終わったとたん介護の負担増やサービス削減を打ち出す安倍内閣に怒りの声が広がっています。そのうえ区は30年4月からの第7期介護保険料の値上げ案を提出しています。

介護保険料など高齢者福祉施策を決める計画案のパブリックコメント（意見募集）に603件の意見が提出されました。区民の声をうけとめて値上げさせない運動を広げましょう。

よせられたご意見

「今の生活がギリギリなのに介護保険料が値上げされたら生活できなくなる。月末になると妻が10円玉を集めて買い物をしている」
(江北・男性)

「今は母親の介護を兄弟でしていますが、さらに介護が必要になったらこれ以上の負担は無理です。介護保険料の値上げ、サービス低下が不安です」(竹の塚・男性)

「近くの特養ホームは申し込み希望が大勢でいつ入れるかわかりません。私自身92歳になり耳が聞こえなくなって来ました。失明の不安もかかえて過ごしていますが、特養ホームの少なさが気がかりです。ぜひ、増設して下さい」(千住・女性)

国民健康保険料

一人あたり保険料14万円に「耐えきれない」の声

区民アンケートによせられたご意見

「収入の増加よりも支出の増加の方が多く困っています」(30歳・男性)

「持病の糖尿病があるため医療費負担が値上げになったら命をちぎめます」(70歳・女性)

「体調を崩し病院に行く頻度が多くなったが、保険料が値上げされると低賃金で病院に通えなくなる。死ねといわれているような気がする」(50代・女性)

国民健康保険が来年度から都道府県単位の制度に変わることに伴い、大幅な値上げの試算を知った区民から、「もう値上げしないで!」「耐えきれない」の声が寄せられています。

日本共産党は「高すぎる保険料を引き下げ、払える保険料にして命を守るため、23区統一保険料を堅持し、低所得者の負担軽減を図り、新たに保険者となる東京都に財政負担を求めるべき」と求め、区も「都に対して、必要な財政負担を図るよう、足立区が先頭になって意見を述べる」と答弁しました。

一方、区民から寄せられた「保険料の引き下げを求める陳情」に対し、「無責任」などと自民・公明が反対をして否決しました。日本共産党は「やる気になれば保険料は値下げできる」と討論を行いました。

不登校対策

足立区で不登校が急増! 1,000人をこえる

「学校が楽しい場に」検証・改善を!

もともと足立区は不登校が少なく学校が楽しい場でしたが、不登校児は急激に増え、平成28年度1078人ついに1000名を超えました。不登校の大きな要因に学校が楽しい場、行きたい場ではなくなったことがあげられます。

不登校が急激に増えた平成24年は、学力向上強化のため管理主義教育が強まった時期です。日本共産党は代表質問で、福岡県古賀市が少人数学級に踏み切る中で新たな不登校児が一人も発生しなくなった例をあげ、足立区でも少人数学級(35人学級)にすべきと求めました。区教委は23区で突出している不登校の事実をみとめ、学識者をはじめ、専門家をまじえた委員会を設置することを約束しましたが、習熟度別クラスの見直しや少人数学級は行わないという答弁でした。

「チャレンジ学級」を増やします!

一方、「チャレンジ学級」は、学校に行けない子どもたちを支えるための不登校児の居場所・学びの場なのに現在2か所です。足りない増設を求めたのに対し、区はあと2か所整備すると答弁しました。また、やっと、民間のフリースクールに通えるようになって、出席扱いになるかどうかは「在籍校の校長の判断」で出席にならないこともありましたが、今後フリースクールに通っている子どもは原則として出席にすることを認めました。

教員の多忙化を解消し、子ども一人一人と向き合える少人数学級を実現し、不登校を解決するため引き続き全力をあげます!

